



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長 ◆ロータリーソング：我等の生業
◆司会：長岡 勲・平田 智則 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

第2970回例会

令和5年2月27日(月)

会長あいさつ

市村 清勝 会長



まず先日のIMのことですが、実行委員会の皆さまには大変お世話になりました。総じてとてもいいIMだったと評価をいただいております。もちろん、反省すべき点もあると思いますが、特にロータリーの中でも上の立場の方からの評価が大変良かったなど、大変うれしく思っているところであります。

懇親会も久しぶりに楽しくさせていただきましたし、感染もなく無事に終了できたことは私にとってもこの上ない喜びでありまして、この場をお借りして皆さまに感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

今日は、平和が一番という話をさせていただきます。ウクライナ侵攻1年ということで、各メディアはここ数日ウクライナとロシアのことを伝えております。とても不幸なことだと思い、まだこの世の中で起きるんだと感じています。ウクライナの人、特に一般市民で犠牲になっている人が多いということはとても悲しいことでもありますし、同じようにロシア人にとってもとても不幸なことなのではないかなと感じています。

それからもう一方では、トルコの大地震であります。こういう災害というものも平和の反対語なのかなと思うのですが、5万人を超える人が亡くなり、700万人もの子どもが被災している。今後も増えるようで、とても悲しいことだと私は感じています。



中高層の鉄筋コンクリートの建物が、隙間もなく崩れています。見ると、鉄筋なんか入っていないように見えるわけですね。調べてみるとトルコにも耐震基準があるようですが、耐震基準を満たさない建物が多くて、一定の金額を払えば法的に見逃される、処分免除というのがあるらしいんです。それによって700万人を超える子どもたちが被災しているのだとすれば、とても悲しいことではないかと思えます。

どちらにしても犠牲になっているのは一般市民、そして子どもたち。特に傷ついた子どもたちの映像を見ると、涙が出ます。景気がいいとか悪いとか言えるのは平和だからです。物価が高いとか、ラーメンが1番になったと言えるのも、平和が大事だなと感じています。自分たちにできることはないのかと考え、行動するのがロータリアンなのではないでしょうか。

幹事報告

安部 弘行 幹事

- 本日はハオくんが来ておりますので、奨学金をお渡しさせていただきます。
- 故千歳貞治郎さんのお別れ会が3月15日、セレモニーホール山形におきまして13時30分より行われます。ご焼香に行かれる方はよろしくお願いいたします。
- 今月のロータリーレートは130円です。



委員会報告

広報雑誌委員会

本日『ロータリーの友』3月号、7ページより、特集として「地域の森活用術」という内容で日本各地の森に関する事例を紹介しております。IMにて樹氷についてパネルディスカッションを行なったということもあり、日本全国昔から森、あるいは木といったものと非常に密接に関わってきたということを改めて記しているような内容になっておりますので、ぜひご一読いただければと思います。

親睦・家族委員会

会員11名、奥様8名、2月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

今年は自動的に奥様への誕生日プレゼントが送られないやり方になっております。皆さまには年初に配らせていただいたカタログをご覧いただきまして、どうか大切な奥様のために早めにプレゼントの決定とお手続きをどうかよろしくお願いいたします。

会員卓話



武田 元裕 さん

今日は、ネパールの話をさせていただきますけれども、ネパールの我々がさせていただいた奉仕事業は、もう20年も前のことでありますので、ほとんどご存じのない方が多いのではないかと。このネパールの話は、2001年に持ち上がりました。それで実際に行ったのが2002年なのですが、その当時西ロータリークラブは創立45年か46年になっていたと思いますが、これまで目立った奉仕作業をやったことがなかったということで、何かさんなねべ、というようなことで話が持ち上がったようであります。

それでどういうわけか当初は、ネパールのトレッキングコースにトイレを作ったらいいんじゃないか、ということで、どういうわけか僕のところに話が来たというようなことでありました。とにかく現地がどんなんだか行ってみようということで、2002年に行く事になりました。

その当時、米本満さんが会長で、私が1回目の幹事の時代であります。それで6人でお伺いをしました。ネパールは横に長い国で、真ん中らへんにポカラという街があります。ポカラは人口が26万人ぐらいなのですが、これでもネパール第2の都市だということでありました。そのポカラロータリークラブというのが、できてまだ10年未満のクラブがあったのですが、そこに連絡をつけてとりあえず訪問を受け入れていただいたということでありました。当初の目的がとにかくネパールの登山道にトイレを作りたいということで行ったわけであります。

現地でもポカラロータリークラブが全て段取りをしてくれていて、その登山道ではサランコットという、スタート地点みたいなところがあります。そのあといろいろ引っ張りまわされて、その次は2日に1回断水する病院に行き、その次はポカラロータリークラブが運営を手伝っている小学校に連れて行かれました。僕らはトイレを作りたいということを申し上げていたのですが、今になって考えれば彼らは色々の状況を見せてくれて、僕らに考える機会を与えたんだと思います。

それで1番目。最初に行った都市の、ポカラのギャンプミ小学校というところ。校舎を見せてもらったのですが、ネパールでは教室が足りない状態なんだと。この教室を午前と午後で違う生徒たちが授業をしていると。それでポカラクラブとしては、ここに小学校校舎を増築したいという意思がありました。

僕らも見せてもらって、帰ってきて、夜ホテルで飲みながらいろいろ話をしました。そうすると、僕らが最初考えていたトイレというのは、どうも優先順位が違うんじゃないかというような感じになりまして、識字率向上とかそういった話があったので、小学校建設に応援すべきじゃないかというような話が、その場全員そんな結論になったわけです。それで、「それをやるとなんぼぐらいかかるの?」と言ったら、その当時のお金で180万円。それでRC、鉄筋コンクリートで平屋ですが、6教室ある建物がその当時はネパールではできたんです。そんなことで、日本からお金を送って、ポカラロータリークラブには建築士さんがいましたので、彼にすべてお願いをしたら着々と、メールでやり取りをしながらできたということです。

2003年、次の年この小学校が完成しました。竣工式が行われ、西ロータリーを代表して米本さんがご挨拶に行っています。

小学校の竣工式のあと、病院に連れて行かれました。セイブ国立病院といって、日本で言えば国立病院というような位置付けであります。ただ、水道がとにかく1日おきに断水をしているというような状況でありました。断水に備えてポリバケツに水を汲んでおいている状況でありました。医療現場で清浄な水がないというのは、多分日本では考えられないことだろうと思います。

小学校建設は180万円でしたので、西クラブ単独の予算でなんとかできました。基金管理委員会を開いて、奉仕プロジェクト基金というものから出させてもらいました。ただ、井戸の場合ですと、400万円くらいはかかるというようなことを聞いていました。とってクラブ単独では難しいんじゃないかと。それでなんとか地区にお願いをして手伝ってもらいたいという気持ちで、本日ゲストにいられている野々村パストガバナーにお願いをしてご同行いただいたわけであります。

2004年、病院の井戸掘り事業が終わって、幸いにも100メートルくらい掘ったら出ましたと。その水質も問題はありせんということででした。

別の年の目標は、段々畑というか棚田のずっと上にある山の学校、そこが、屋根が老朽化して雨漏りがするというので連れて行かれました。屋根が鉄筋コンクリートのスラブで、打ち継ぎ面がびーっとヒビが入っていて、そこから漏ってくるという状況でありました。その補修もさせてもらいました。

ざっと駆け足で言ってしまうけれども、当時は、細谷先生の国際奉仕委員長当時の「なんかさんなねべ」から始まったようなものであります。僕はもう20年前、2002年、2003年、2004年、2009年と、4回行かせてもらっています。非常にいい経験をさせてもらえたなと思っています。

よく先輩方から、ロータリークラブが奉仕をするんじゃないと、奉仕する個人の集まりがロータリークラブだと、よくお伺いします。でも、奉仕を



すると言ったって、ある程度勉強をしないと、何かで奉仕の体験をしていないと、自分で発案をしてやろうということはなかなか難しいのかもしれませんが。皆さんで議論をしていく必要があると思いますが、やっぱりクラブで何かモデル的な奉仕事業をやって、その上でそれぞれそれに参加したクラブのメンバーが何か自分で有意義なものを考えて個人でやるというようなことも1つの方法なのかなと、しみじみ思っております。西クラブも震災の石巻復興支援芋煮会以来、もうらしいことはやっていないと思っていました。こういった事業も1つだと思えます。

ほかのことで何らかの事業でメンバーが1つになれるような事業をぜひ皆さんで考えていただけてやっていただければと思います。この前のIMで樹氷の問題を本当に市村会長が熱く訴えて、すごくいいIMになったと思えますけれども、あれで終わらずになんとか先につなげていけるような形があればいいのかなんていうのは個人としては思っていたところでありました。

パストガバナーよりご挨拶

野々村 政昭 さん

皆さま、こんにちは。先日のIMの開催、大成功おめでとうございました。

今、元裕さんから20年前と一緒にやった事業、あれは西クラブと地区の共同事業で、病院に井戸を掘ったという覚えがあります。いろいろ事件もありましたけども、西クラブからは多数の皆さんにご参加いただいて、面倒を見ていただきました。

その後日談もいろいろあり、今病院の話が出ましたけれども、遊びにもトレッキングにも行きました。トレッキングでは清野さんと一緒に馬に乗って、落馬した覚えもあります。そして午前中しか飛行機が飛ばないということもありました。そこにトレッキングで行ったのですが、あの時は細谷さんも行きました。とても楽しい思い出でしたけれども、もう20年前のことですし、ということは私はちょうど60歳の時、清野さんも60歳の時ですね。ということです。いぶん昔の懐かしい写真を見て大変喜んでます。

数日前、武田元裕さんから電話連絡がありまして、ネパールの卓話をするからぜひ一緒に聞いてくださいということで、喜んで今日来た次第であります。今はどうなっているか、もうこの年では行けませんので、何かあったらお知らせいただきたいと思います。

今日は西クラブの例会に出られて楽しかったです。ネパールはなんでも、終わりも始めも「ナマステ」で終わります。ナマステ、ということで今日はありがとうございました。

ニコニコBOX

〈2月27日〉

市村清勝会長／IMを成功に導いていただいた皆さまに感謝

2月18日のIM『スノーモンスターを守れ』は、実行委員会の皆さまをはじめとする西ロータリークラブの皆さまのお力で大成功に終えることができました。心から感謝申し上げます。西ロータリークラブの底力を感じるIMでした。

細谷伸夫さん／IMの大成功を祝して

先のIMは各人より高評価を得て大変嬉しく思います。これもひとえに山形西ロータリークラブ会員のクラブ奉仕に向けた底力を発揮できた賜です。これを機会に山形西ロータリークラブがロータリーの根源に向けさらなる奉仕活動に邁進していただきますよう期待いたします。

東海林健登さん／メンバー皆さまのご協力で本当に素晴らしいIMを開催できたと思います。皆さまの協力に心より

ニコニコさせていただきます。

横沢善則さん／IMではお世話になりました

弊社小坂アナがシンポジウムでは大変お世話になりました。彼女も大変勉強になったと喜んでおりました。お世話になった御礼でニコニコいたします。

遠藤靖彦さん／IM懇親会

2月18日のIMの懇親会、無事おおいに盛り上がった中、終了することができました。協力いただいた皆様に感謝。

武田元裕さん／卓話をさせていただきます

ネパールの話をします。もう20年前の話なので、知っている方が少なくなりました。

飯田喬之さん／県知事賞をいただいて

県健康福祉祭第31回ねんりんピック2022の工芸の部でいただきました。感謝してニコニコします。

中村喜陽さん／山形市コミュニティサイクル

山形市コミュニティサイクル事業に協力し、弊社建物前にサイクルポートが設置されました。3月1日の運用開始で少しでも活性化に寄与できればと思い、市に提案し、実現に至ることになりました。活用シーンが増えることを想像し、ニコニコです。

安部弘行さん／30歳になる長男が嫁さんをもらうことになり、無事結納を済ませました。これで安部家も一安心でニコニコします。

及川善大さん／長男の2歳の誕生日

長男のシュンヤがIMのあった2月18日に2歳の誕生日を迎えました。子育てで大変なこともありますが、順調に育ってくれていることに感謝し、ニコニコいたします。

吉田福平さん／千歳貞治郎様のお姿を偲び

豪快なゴルフ、酒飲み、南高同窓会でも大変お世話になりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

本日出席 (2 / 27)	会員総数	出席会員数
	99名	67名 (Zoom参加6名含む)